

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 先端科学技術体験センター備品購入費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

〒生活部県民文化局文化伝承課教育文化係 電話番号：058-272-1111(内3143)

E-mail：c11148@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 2,917 千円 (前年度予算額： 2,007 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	2,007	0	0	0	0	0	0	0	2,007
要求額	2,917	0	0	0	0	0	0	0	2,917
決定額	2,917	0	0	0	0	0	0	0	2,917

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

指定管理者に貸与している県有備品の老朽化に伴い更新を行う。

(2) 事業内容

先端科学技術体験センターの備品購入費

<更新する備品>

- ・スペシャルラボ映像機器

(3) 県負担・補助率の考え方

岐阜県先端科学技術体験センターの管理に関する基本協定書より、1物品あたり10万円以上の備品の購入は、県が負担することになっている。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
備品購入費	2,917	スペシャルラボ映像機器更新（液晶モニター）
合計	2,917	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 後年度の財政負担

施設設備の状況に応じて計画的に備品を購入する。

(2) 事業主体及びその妥当性

岐阜県先端科学技術センターの管理に関する基本協定書より、1物品あたり10万円以上の備品の購入等は、県が負担する。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

先端科学技術体験センターは、平成11年7月に開館し、24年経過している。備品についても、更新時期を迎えているものや、老朽化しているものがあるため、備品を更新する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	サイエンスラボ1の音響機器等を更新したことで、説明者の声が利用者に対してはっきりと伝わるようになり、利用者の満足感の向上につながった。
	指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %
令和3年度	スペシャルラボの音響機器等を更新したことで、説明者の声が利用者に対してはっきりと伝わるようになり、利用者の満足感の向上につながった。
	指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %
令和4年度	平成28年度当初から故障していた電子顕微鏡を更新し、高校生以上を対象とした講座での使用を再開することができ、質の高いプログラムの提供及び利用者の満足感の向上につながった。
	指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない 	
(評価) 2	引き続き、適切な施設運営を実施するためにも、計画的に県有備品の更新を行う必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている 	
(評価) 2	所有する備品は多数あるが、備品の状態や必要性を考慮して計画的に備品を更新することができた。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 先端科学技術体験センターは、平成11年7月の開館から24年が経過しており、備品についても更新時期を迎えているものや老朽化しているものがあるため、計画的に備品を更新する必要がある。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 先端科学技術体験センターは入館者のニーズを満たした運営ができており、来館者に科学体験の場を提供するためにも、計画的に備品を更新する必要がある。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課		【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など		